



実はとっても身近な  
ファイル転送



意外と奥が深い  
ファイル転送

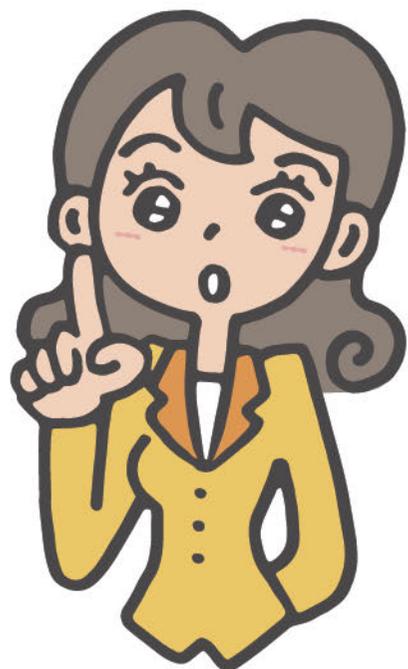


FTPだけでは  
不安...



もっと便利になる  
ファイル転送

# HULFT ファイル連携 超入門



ファイル転送の落とし穴、HULFTは落としません!



## 知らずにやってる？ ファイル転送と アナタの深～い関係

ファイル転送  
なんて  
関係ないし…



フタクム



ハルナミ

いえいえ、  
実は関係大アリ  
なんです！

皆さん「ファイル転送」と聞いてどんなことをイメージするでしょうか？  
「自分には関係ない」と思う人も多いと思いますが、知らずにファイル転送を  
しているかもしれません。

ちょっと詳しい人は「ハイハイ、FTP使って送ってますよ」なんて思うかもしれま  
せんが、ホントにそれで大丈夫でしょうか。

実はアナタもやってるファイル転送。

そんな身近な存在でありながら、システムの急速なクラウド化やビックデータ、  
IoTなど技術の進化とともにどんどん重要性が増しているという、身近で実は  
奥が深いものなんです。

「ファイル転送」ってそもそもいったいナニ？ といった基本から説明しましょう。

## メール添付も!? 実は身近なファイル転送

で、知らずにやってるファイル転送って例えばなんなんですか？  
僕はさすがにやってないですよ？



そんなことないわよ。  
たとえば、メールにファイルを添付して送ってるでしょ？  
USBメモリにファイルを入れて渡したことは？  
それもファイル転送なのよ！



え？ それもファイル転送なんですか？  
そういえば、お客さまに  
ファイルを添付してメールしたら、  
容量オーバーで届いてなかった  
みたいで、トラブルになっちゃって、  
あと、部長もUSBメモリをなくして  
大騒ぎになったり…。  
ファイル転送ってこわいなあ。



重要な役割を担っているからこそ、トラブルがあると大変よね。  
そこで登場するのが“自動化”。以下のようなケースに  
当てはまるなら、ファイル転送を自動化して、手間なく、  
大容量でも確実に転送できる仕組みを用意することができます。

### こんな場合は、ファイル転送“自動化”の検討を！

- 定期的に決まった相手にファイルを送っている
- メールでは送れない大容量ファイルを送る必要がある
- 確実に相手に届いたことを確認する必要がある



## システムが増えるとファイル転送も増える —クラウドとの連携はどうしてる？



それに、少し前に経費精算システムを変えたの覚えてる？

もちろん覚えてますよ！インターネットの経費精算サービスに変わったので、どこからでも経費精算が出来るようになってとっても便利になりました！



領収書はどうしてる？

Webからアップロードしてるけど… あ！これもファイル転送なんですね。



そう、その通り。大分分かってきたみたいね。  
領収書のアップロードもそうだけど、実際に経費精算をしたデータ、そのままではフシ君にお金を払えないのは分かるわよね？  
最終的にお金を払うのは会社だから…。

あ、会社のシステムと情報のやり取りをしないとイケない！



そうなのよ。  
便利なクラウドサービスを使うためにはほかのシステムと情報連携しなくちゃいけないでしょ？  
「ファイル転送」で情報連携しなくちゃ便利なシステムも動かせないのよ。



### こんな場合は、ファイル転送“自動化”の検討を！

- 定期的に決まったシステムと連携している
- ファイルのサイズが大きくて連携に時間がかかる
- ファイル転送が失敗した時の影響が大きい



## 意外と奥が深いファイル転送 FTPでは十分じゃないことも多いんです。

うちではどうやってファイル転送をしているんですか？



ファイル転送のシステム化を実現する方法として、一般的に知られているのが [FTP]。  
ファイル転送のための通信プロトコルで、無料で利用できるの。

便利なモノがあるんですね。じゃあコレを使えばすべて解決っと…。



ちょっと待って、そう簡単にはいかないのよ！  
去年、経費精算がトラブって支払いが1か月遅れたの覚えてる？

覚えてます。あの時はあてにしてお金が戻ってこなくて欲しかった限定品が買えなかったんですよ…。



直接ではないんだけど、あの時の原因の一つにFTPを使っていたことがあるのよ。  
ファイル転送をFTPでやってたんだけど、ファイル転送が失敗した時のことを考えてなくて、月末の処理が予定通りに動かなかったのよね…。

えー。あんなことがまたあったら困ります！また限定品買い逃しちゃう…。



ふふふ。もう大丈夫よ。FTPにはほかにも課題があるからその部分は専用の製品に置き換えたの。

### FTPの課題とは…

転送以外の処理を開発する必要がある



FTPが実現するのは「指定したファイルを転送する」だけ。ほかの処理のことは自分たちでどうにかしないとイケないのです。

セキュリティ・信頼性に問題がある



FTPは基本的にファイルの暗号化を実施しません。大事なファイルを転送するのに適したシステムとは言えません。

# HULFT 導入前…



## 開発段階 自社開発 の限界

FTPでファイル連携した後に用意したプログラムを実行するだけだと思っただけ…。

ファイルが転送される途中だったり、いつ終わるか監視しなくちゃいけなかったり、データが一部壊れていた…。

思ったより作るところがたくさんあって、結果バグを作りこんでしまったよ…。

## 企業間の連携 わが社の 信用問題

経費精算のバグの件では、社員みんなにやいやい言われて胃が痛くなってしまったよ。

今回は社内だったら取引先に迷惑をかけなかったのは不幸中の幸いだったけど…。

今回の事を思うと取引先とのファイル連携のシステムなんて自分たちで作りたくないよ…。

あの頃は色々問題があって大変だったのよ…。情報システム部の人達もとっても苦労していたわ。



## 運用段階 原因調査 の限界

FTPでファイルがうまく送れなくても聞くところが無いから全部自分で解決しなくちゃいけないし…。

データが書き換わった原因を調べるのには骨が折れたなあ…。

## 業務の効率化 わたしの 健康問題

アレからファイル転送をするたびに会社に残って上手くいか確認するハメに。

月末がホントに憂鬱だよ…。

毎月毎月寝不足だし、心配で精神的にもこたえるよ…。

# HULFTでまとめて解決!

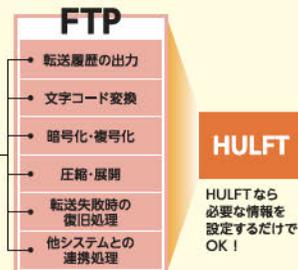


そんなFTPの課題をまとめて解決してくれたのが「HULFT (ハルフト)」だったのよ。最初からHULFT を使っていれば、もっと簡単にファイル転送の自動化ができたわ。



## 導入がカンタン!

どのシステムにどのファイルを転送するかを指定する、ファイルを暗号化する、履歴をとるといった、ファイル転送の一連の流れをカンタンにシステム化。開発(プログラミング)が不要で、短期間で導入できます。



## 運用がカンタン!

たとえば大容量のファイルを送る途中でエラーになったら…。FTPでは最初から送りなおすしかありませんが、HULFTならば「続きから送る」ことができます。自動で再送信する機能などもあるため、日々の運用がグッとラクに。また、ファイルの転送先が増えなくても、転送先ごとの設定や処理、連携をカンタンに管理できるのもHULFTの特長です。

## HULFTが 実現する セキュリティと 信頼性

HULFTでは標準で複数の暗号化方式に対応しており、転送するファイルの内容が第三者に読み取られないよう暗号化してファイル転送をおこないます。こうすることで、ファイル転送の途中で内容を「盗聴」されるリスクを最小限におさえ、強固なセキュリティを実現します。さらに、レコード件数やファイルサイズなどを転送後にチェックし、正しいファイルが届いたかどうかを検証する仕組みも搭載。間違いのないファイルを確実に届けることを可能にしています。

確かにHULFTを使うと、FTPを使って自分たちで対応した場合と比べると、作業が減りそうに見えますね。



そうでしょ!  
ファイルを転送するということは、そのファイルを何かと連携しなくちゃいけないわけ。思ってるより気にしなくちゃいけないことって多いのよ。イメージがわいたところで、次に具体的な機能を少し説明してあげるわね。



# 色々なところで使われている HULFT

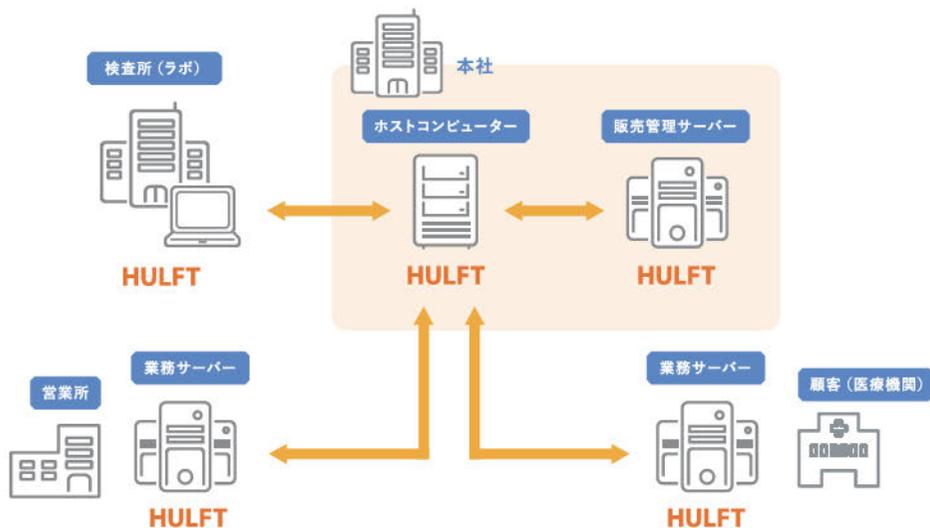


ちょっと話が広がっちゃうけど、実際にどんなところで HULFT が使われているのか紹介するわね。



医療系のお話なんだけど、ラボで治療に作った検査データを HULFT を使って、本社、営業所、お客様である病院までデータを転送する仕組みね。たくさんあるファイル転送を HULFT でまとめることで、データ保存が確実に なったし、運用作業もシンプルになったそうよ。

あの話を聞いたあとじゃ、とても一つ一つ考える気は起きないな…。全部 HULFT に任せて正解！ ですね。

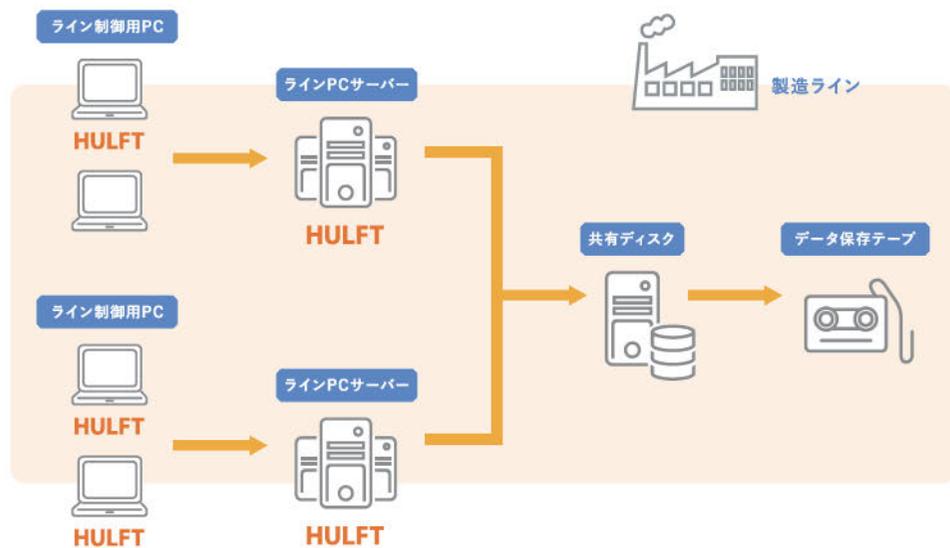


もう一つは製造業のお話です。工場のラインから画像データを磁気テープへデータ保存する仕組みなんだけど…。

画像データってことはサイズが大きそう。エラーも頻発するのかな？



正解、ファイル転送はエラーが起きるもの、それでも正しく動く仕組みを一から作るの大変、これも HULFT に任せて正解！ ね。



**Q** HULFT でファイル転送を行う場合、送信・受信側どちらに HULFT が必要になりますか？

**A** 送信・受信側どちらにも HULFT の導入が必要です。

**Q** HULFT を海外で利用することは可能ですか？

**A** 可能です。国内外の法規をご確認いただいたうえでご利用をお願いします。暗号化機能が規制される国や地域でのご利用を想定し、暗号化機能を除いた製品もご用意しております。

## Q&A

**Q** HULFT を使ってみたいのですが、お試し版はありますか？

**A** 60日間ご利用いただける評価版をご用意しています。以下のサイト (myHULFT) にご登録いただくことですぐにダウンロードが可能です。なお、評価版をご利用中のお客様へは、メールでのサポートをご提供します。

<https://his.hulft.com/mypage/login/login/>



## 機能だけじゃない、HULFTを選ぶ理由

### 豊富な導入実績

1993年の発売以来、HULFTは数多くの企業のファイル転送を支えてきました。海外企業の導入も多く、企業規模や業種を問わず豊富な実績を誇ります。



実はHULFTってすごくたくさん  
の会社で使われてるのよ。  
あその会社にファイル送りたいな  
って思ったときにHULFTがあれ  
ば話がすんじゃうことも多いわね。

ホントですか？  
セゾンテクノロジーにファイルを送りたいんだけど、  
HULFT使ってるか聞いてみようかな。



ちょっと…。  
セゾンテクノロジーはHULFTを作ってる会社なんだから使ってるに  
決まってるじゃない…。

### 選ばれる理由は“品質”

ここまで多くの企業にHULFTが選ばれる理由は、  
その品質。20万項目におよぶテストを実施し、  
「そもそもトラブルが起きない」「問題があっても  
すぐに解決する」と高く評価されています。



それと、何より大事なのは品質ね。  
品質が高くないと安心してファイル  
転送を任せられないでしょ？

テストが20万項目！  
確かに自分達でそこまでの品質を確保しようと  
思ったら気が遠くなるなあ…



対外的にも評価を受けているサポート体制に加え、  
充実の研修も好評です。

まずは基本のこのコース

きっちり学びたい方はこのコース

HULFT  
研修コース

HULFT入門コース

基礎は  
ココから

HULFT 技術者資格  
認定試験対策研修

## まだまだあります、HULFTを選ぶ理由

### 「安全・安心」への取り組み

HULFTは製品開発時に20万項目にも及ぶテスト  
を実施し、お客様のシステムを止めない安全、  
確実な運用をご提供いたします。また高いサポート  
品質をご提供するため、例えば一次問い合わせ  
での解決率など、様々な指標を元にサポートの  
品質向上に努めています。



※障害件数/出荷本数  
2025年5月 (HULFT製品)



※1次問い合わせ解決率  
2025年5月 (HULFT製品)



豊富な機能を持っているだけでなく、使い方を支援してくれる  
サポートや研修も充実してるのよ。

これなら最初に導入する時も安心して使えますね。



ファイル転送って  
とっても身近で奥が深いんですね。

そうね。  
それを分かってくれたら  
うれしいわ。



HULFT 研修サービスのご案内..... [詳しくはこちら](#)

### HULFTの基礎をしっかりと学びたい方へ

HULFTの概要から各機能、操作・管理方法までを効率よく習得することができます。HULFT  
をこれからご利用いただくお客様から、すでにご利用いただいているお客様まで、プラット  
フォームごとのコースをご用意していますので、受講後すぐに業務にお役立ていただけます。

データ転送のデファクトスタンダード..... [詳しくはこちら](#)

### HULFTセミナー・イベントスケジュール **参加無料**

HULFTの概要から各機能、導入事例をご紹介します。HULFTをご存知ないお客様から、  
既にご利用いただいているお客様まで、幅広いニーズにお応えできるよう様々なコースをご用意  
しています。



詳しくは  
こちら



# HULFT ファイル連携 超入門

これを使えば  
ボクもファイル転送  
マスターだっ!



SAISON  
TECHNOLOGY

株式会社セゾンテクノロジー  
www.hulft.com

お問い合わせ e-mail [marketing@saison-technology.com](mailto:marketing@saison-technology.com)

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾンテクノロジーの登録商標または商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

このカタログの記載内容は、2025年1月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。  
© Saison Technology Co., Ltd. 2025